

日本医科大学(前期) 英語

2021年2月2日実施

[I]

問 1 exceeds growing declared defend permitted

問 2 (1) (う) (2) (あ) (3) (え)

(4) 前者は、すべての人が臓器提供に同意しているとみなしたうえで、拒否する場合にのみその申し出をさせる。それに対して後者は、臓器提供をしないというのが前提で、したい場合にのみ必要な手続きをさせるもの。

(5) たとえ臓器提供に同意している人であっても、必要な手続きを怠っていた場合にはドナーにすることができないため、結果として臓器移植率の低下につながっている。

問 3 記号 : (え)

理由 : Part D の最終段落より、ドナーにならない意思を推定するドイツでは臓器提供率が 12%であるのに対し、ドナーになる意思を推定するオーストリアでは 99%であり、オンライン調査で得られた傾向と一致するから。

問 4 記号 : (い)

理由 : Part F の最終段落第 2 文に「運転免許証更新の際に臓器提供の希望有無をチェックさせられる」とあるが、「ドナーカードに署名させられる」とは書かれていないから。

問 5 b

問 6 c

問 7 c

問 8 b

問 9 d

問 10 c

問 11 d

問 12 d

問 13 a, d

問 14 c

< 講評 >

昨年度の大問 I (記述式長文)・大問 III (適語補充)・大問 V (マーク式長文) の各スタイルが 1 つの大問に併合され、その分文章量も多くなった。しかし全体としての分量にはあまり変化がなく、長文そのものもトピックごとに Part で区切られているなど、対立構造の明らかな読みやすいものであった。マーク式問題では、例年通り Choose ALL 型の内容一致問題が 2 問出題された。

[II]

問 1 a

問 2 c, e

問 3 a, c

問 4 (1) d

(2) a

問 5 (1) c

(2) d

問 6 (1) d

(2) b

問 7 (1) e

(2) d

問 8 (1) b

(2) d

< 講評 >

例年通り、発音・語彙に関する小問集合が出題された。語彙は昨年度に比べると易しめの印象であり、8割以上は確保しておきたい。

[Ⅲ]

(解答例 1)

I'd like to take an example of a clinical trial. Now, in the face of the prevalence of COVID-19, clinical trials are conducted all over the world. Of course Japan is taking some part, but the Japanese law requires the explicit consent of subjects, giving the top priority to human rights. However, under the situations like now where pandemic breaks out and many lives are being lost, taking an explicit consent rule can lead to many more victims. The presumed consent rule has a risk of violating human rights, but considering a benefit gained from collecting a number of clinical cases, there would be a time when we should choose the presumed consent policy. (114 words)

(解答例 2)

In emergency medicine, doctors are frequently faced with a dilemma of whether they should take life-saving procedures or not. This is because some people refuse life-saving procedures if their physical state is not expected to function normally as before, especially like brain death. If it is impossible for a doctor to know a patient's will, he can turn to the patient's family. When this is not possible either, doctors are faced with a serious dilemma. In order to protect doctors faced with this kind of situation, an opt-out system should be used, in which only those unwilling to take life-saving procedures express their will. As for other people, doctors feel reassured to save them. (114 words)

< 講評 >

大問 I で扱った、同意に関する 4 種類の手法が適用可能な状況を臓器移植以外で考え、その場合にどの手法をとるのが適切と思われるかを論じるもの。インフォームド・コンセントのような概念は、医学部を目指す諸君にとっては身近なものであったはずで、比較的取り組みやすいテーマである一方、それが適用可能な具体的状況を想起するのは少々難しかったかもしれない。解答例 1 では、現在 COVID-19 の感染爆発を受けて世界中で進められている臨床試験 (clinical trial) を題材に、解答例 2 では回復の見込みがない場合の延命措置の是非を題材に答案を作成してみた。

【総評】

昨年度に比べると大問の構成に大きな変更があり、長文は長めの文章 (約 2,000 語) が 1 題となった。しかし、内包された問題形式そのものはほぼ昨年度通りで、本質的に要求される力は変わっていないと考えられる。日本医科大学の内容一致問題は細部の検討が求められる難問が多いため、本文や選択肢の一語一句を慎重に参照することが求められる。幸いにして試験時間は 90 分と長めであるため、落ち着いて精読することを心がけたい。

メルマガ無料登録で全教科配信! 本解答速報の内容に関するお問合せは… YMS ☎03-3370-0410 まで